

1 次の空欄に当てはまる言葉を書きなさい。

2 点 A, B を通り、両方にかぎりなくのびているものを  という。直線 AB のうち、A から B までの部分を  という。また、線分 AB を B のほうへまっすぐにかぎりなくのばしたものを  という。

図形を、一定の方向に、一定の距離だけ動かす移動を  という。線分 AB と線分 CD の長さが等しいことを  $AB \equiv CD$  とかく。図形をある点を中心として、一定の角度だけ回転させる移動を  といい、中心とする点を  という。図形を  $180^\circ$  だけ回転移動させることを  という。また、図形をある直線を折り目として折り返す移動を  といい、折り目の直線を  という。

平行な 2 直線を  という。2 直線 AB, CD が平行であることを  $AB \parallel CD$  とかく。1 つの点 O から出る 2 つの半直線 OA, OB によって角ができる。この角を  AOB とかく。2 直線が垂直であるとき、一方の直線を他方の直線の  という。線分 AB と直線  $l$  が垂直であることを、 $AB \perp l$  とかく。

線分を 2 等分する点を、その線分の  という。線分の中点を通り、その線分に垂直な直線をその線分の  という。2 点からの距離が等しい点は、垂直二等分線上にある。

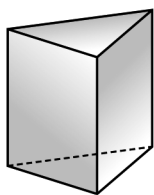
1 つの角を 2 等分する半直線を、その角の  という。角の二等分線は、その角の  である。角の二等分線上の点から角の二辺までの距離は等しい。また、角の内部にあって、その角の 2 辺までの距離が等しい点は、その角の二等分線上にある。

円周上の 2 点を A, B とするとき、A から B までの円周の部分を弧 AB といい、 と表す。円周上の 2 点を結ぶ線分を弦といい、両端が A, B である弦を  という。

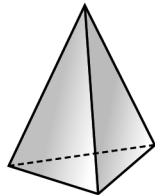
円の中心を通る直線に垂直な直線を平行移動させていくと、1 点だけで円と出会う場所がある。このとき、この直線は円に  といい、この直線を円の 、円と直線が接する点を  という。円の接線は、接点を通る半径に  である。

弧の両端を通る 2 つの半径とその弧で囲まれた図形を  という。おうぎ形で、2 つの半径のつくる角を  という。

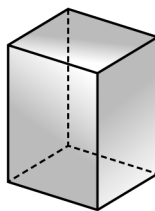
㉗



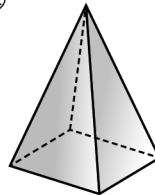
㉘



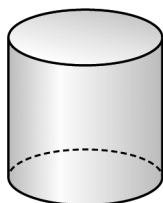
㉙



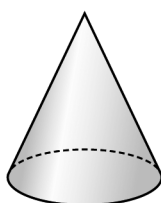
㉚



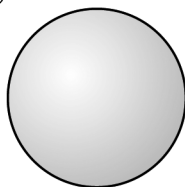
㉛



㉜



㉝



上の ㉗ ～ ㉚ の立体のように、平面だけで囲まれた立体を  という。また、㉘ や ㉚ のような立体を  という。㉜ のような立体を  という。

底面が正三角形、正方形、… で、側面がすべて合同な長方形である角柱をそれぞれ、正三角柱、正四角柱、… という。また、底面が正三角形、正方形、… で、側面がすべて合同な二等辺三角形である角錐を、それぞれ正三角錐、正四角錐、… という。

立方体のように、多面体で次の 2 つの性質をもち、へこみのないものを  という。

1 どの面もすべて合同な正多角形である。

2 どの頂点にも面が同じ数だけ集まっている。